

区分	事業名・概要	実施状況
I 旅客サービスの向上及びPR		
1. より利用しやすいダイヤ	(1) 軽井沢～小諸間の増便 (2) 軽井沢駅での新幹線、小諸駅での小海線等、他路線との接続改善 (3) 軽井沢～長野間の直通運転の継続	・上下14本の増発継続。(継続実施中) 平成28年3月26日の改正ダイヤでも継続実施を決定。 ・ダイヤ改正の都度接続改善の取り組み。 ・ダイヤ改正において、長野発軽井沢行きの上り列車1本を直通、快速化。
2. 駅舎等の設備・改良	(1) 屋代駅エレベーター詳細設計 (2) 小諸駅エレベーター概略設計	・平成28年2月19日しゅん工。 ・平成28年2月26日しゅん工。
3. 企画列車の運行、イベントへの参加等	(1) 観光列車「ろくもん」の運行	・定期観光列車として、 第3四半期までの平均乗車率は約68%(期間:4月～12月/運行日数142日間)。 ⇒【食事付プラン乗車率平均】約86%(相席不可状況を考慮するとほぼ満席) 背景: 旅行AGTの商品化・貸切、全国の報道機関での情報取り上げ。 ・平成27年7月11日(土) 観光列車「ろくもん」運行開始1周年。・首都圏旅行会社や沿線自治体、ホテル等による貸切列車も定期的に運行。 ・広域的観光のツールとしての活用。日本三大車窓「JR姨捨駅」への乗入を旅程に組込。(10/28 千曲市姨捨マイルール(貸切)。11/3 千曲川クルーズトレイン) 参考)H28.3.1から予約状況をしなの鉄道HP上に掲出。
	(2) 企画列車の運行	・「ビール列車」(上田～長野～小諸～長野:7/24、31、8/7、21、28、9/11 しなの鉄道線計6本運行) この他企業貸切1本。 ・「ビール列車」(長野～黒姫～長野:9/18 北しなの線1本) ・「千曲市マルシェ号in軽井沢」(10/10) 列車車内、駅ホームで地域の特産品の販売や観光PR。(千曲市共催。お客さま感謝イベント同時開催) 来場者数797名(列車:434名＝時間帯利用者含む、入場整理券利用者363名)
	(3) 企画・割引切符の発売	・「軽井沢・長野フリーきっぷ(大人2,350円・小人1,180円)」、「北しなの線フリーきっぷ(大人1,000円・小人500円)」 (北しなの線リレーきっぷ:軽井沢・長野フリーきっぷと北しなの線フリーきっぷを併せて利用する時北しなの線フリーきっぷが半額) ・「しなの鉄道シルバーパス」(1ヶ月タイプ4,700円、3ヶ月タイプ11,800円)、「北しなの線シルバーパス」(1ヶ月タイプ2,700円、3ヶ月タイプ6,700円) ・「軽井沢フリーパス」(軽井沢観光協会、草軽交通、西武高原バス、千曲バスとの連携企画) ・「長野-日本海ひすいラインフリーきっぷ(長野-妙高高原-直江津-市振:大人2,000円、子ども1,000円)」 ・「 長野・黒姫グレンデ直行らくらくパック(大人4,500円、子ども4,000円) 」往復電車代+駅・スキー場間往復交通機関利用券+1日リフト引換券 他「週末パス」、「信州ワンデーパス」、「北信州ツーデーパス」などJR、長電、トキ鉄、バス事業者によるフリーエリア内乗り降り自由なおトクな企画きっぷに参画。
	(4) 地域イベントへの参加	・坂城駅ふーど市(9/12)、屋代駅前秋フェスタ(9/25、26)、小諸ふーどまつり(10/4)、ウェルカム三才児まつり(10/12)などに参加。 一部イベントを当社のお客さま感謝イベントとして位置付け、物品の販売や来場者、ファンクラブ会員に特典の付与等を行った。
4. パーク&レールライド	(1) 軽井沢交通快適化対策 (2) 駅周辺駐車場情報の発信とリニューアル (3) 貸自転車配置	・GW、お盆、SWIに公共交通利用促進キャンペーン実施。「軽井沢フリーパス」などの告知を通じて利用推進。関連:軽井沢ホリデー号の運転。 ・HPで情報発信するとともに、発行から4年以上経過したマップを北しなの線を含めた駅周辺の駐車場情報冊子の更新。H28.1、駅、関係機関に配布。 ・上田市、坂城町、田中駅、屋代駅で継続。
5. 情報提供の高度化	(1) 首都圏での来訪者向けのPR (2) しなの鉄道と路線バス・コミュニティバスとの総合時刻表の作成 (3) 地域情報などの収集及びHP、SNSでの情報発信	・銀座NAGANOでの観光列車PR(県林務部のイベントへの参加)。H28.2月に 軽井沢町、御代田町、小諸市の共同イベントに参加(H28.2.22)。 ・千曲市の総合交通時刻表をはじめ各自治体で作成。 ・継続実施中(現在は沿線春の花情報を発信)。一部ページの多言語化対応を検討中。
II 駅周辺の活性化		
1. イベント、バザー等の開催		・地域イベント開催時に駅構内等もイベントエリアとして設定。(I.3.(4)参照)
2. 沿線の住民、学校等の表現の場としての駅の活用		・小諸駅に巨大絵を展示(小諸青年会議所事業)。 ・屋代駅コンコースにイベント開催時のワークショップ作品を展示。改札口に地元高校生の制作による真田氏の甲冑展示。(継続) ・観光列車運行時に沿線学校による演奏、コーラス等おもてなし演出。
3. 全ての有人駅のインターネット環境整備		・委託駅を含め、インターネット環境を整備。社内連絡の効率化やお客さま案内に活用。
III 地域との連携		
1. 沿線イベント情報の発信	(1) 各市町等広報紙への掲載 (2) 列車内の中吊りチラシ掲載 (3) 地域情報などの収集及びしなの鉄道HP、SNSでの情報発信(再掲)	・ダイヤ改正情報や、地域と連携したイベント情報発信の協力を呼び掛けていく。 ・列車中吊り広告事業継続実施。各自治体による観光情報等の掲出。 ・しなの鉄道沿線自治体並びに長野以北の自治体への地域情報提供依頼及びしなの鉄道ホームページへの特集情報掲載。
2. 地域イベントとの連携	(1) ウォーキング大会等での利用促進 (2) イベント来場時の公共交通機関利用PRの実施	・「ホリデーウォークin軽井沢2015」(本年は列車移動の行程は無かったが、中軽井沢駅を集合・解散地点として設定) ・「長野マラソン」、「善光寺御開帳」、「ながのびんずる祭り」開催に伴う臨時列車と公共交通利用PR
3. 集客施設との連携	(1) 集客、商業施設と連携した商品開発、イベント参加 (2) 駅を起点とし、周辺商店街と連携した回遊施策としてのウォーキングイベント	・「エヴァンゲリオンと日本刀展」限定デザインフリーきっぷの発売、「北国街道 小諸宿のお人形さんめぐり」記念入場券発売など。 ・クロスワードパズルとウォーキングを組み合わせ「信州上田謎解きミステリーウォーク」を開催(11/7) 問題用紙配布276枚、当日解答用紙提出者115名。 ミステリーブッククイズ応募者49名。正解者には抽選でろくもんお食事付プラン他賞品を進呈。 ・シルバーパス提示による沿線施設(美術館など)特典付与展開継続。
4. 地域と連携した利用促進	(1) マイルール(団体貸切列車) (2) 社会見学時の列車利用を促進 (3) 沿線プロスポーツチームのホームゲーム開催時の列車利用促進	・観光列車を含む貸切列車受付。 ・小学生の乗り物遠足や社会見学催行時に、きっぷの買い方やホームでの列車の待ち方など、基本的なマナーの紹介を紙芝居などのツールを用いて展開。 ・観戦者の鉄道利用は低調。主催者の誘客と合致する企画が必要。
5. 環境設備	(1) ボランティアによる駅舎の清掃 (2) 駅の花木の植栽	・駅周辺ボランティア組織による駅舎の清掃や花壇の手入れなど引き続きご協力をいただいている。 ・事業者として、魅力ある駅づくりの一環として駅構内への花木の植栽や駅周辺の美化活動を実施。(5S活動展開中)